

共産党市議団
1月9日

切実な願いの実現へ 市長に新年度予算で要望



要望書は昨年12月27日提出。1月9日、市長交渉しました

日本共産党市議団は1月9日、山仲市長に、2013年度野洲市予算に関する要望を行いました。福祉医療教育及び経済など、切実な願いです。引き続き、暮らしの要求実現へがんばります。

新病院や特別養護老人ホームの整備、福祉医療の無料化拡大、幼稚園・保育園整備……。

昨年12月に新病院の整備案が提案されましたが、7名の議員が反対したことにより市長は「当面、凍結する」ことを表明しました。これに対して「新病院は市民の願いであり、市民や議会に対して整備方針の説明や理解のための努力を図るべき」と求めました。

「保険あって介護なし」の介護保険制度です。野洲市でも特別養護老人ホームの待機者は増加の一途です。市内に特養の整備を進めるよう求めました。

「子ども園」の保育料を「時間単価」を検討していますが、これでは低所得者層及び長時間保育の世帯の排除につながりかねません。このような方式を実施しないことを求めました。

子どもの通院医療費の無料化を中学校卒業まで拡大することを求めました。県下でも拡充する市町が増えていきます。野洲市でも早期の実施を求めました。

大飯原発再稼働やめさせ、原発ゼロと自然エネルギーへの転換を求めました。

深刻ないじめ問題に対して、子どもの命と人権を守る立場から学校及び教育委員会が一体となり取り組まれることを求めました。

政府が生活保護基準の引き下げや保護を「有期制」にして保護抑制を図ろうとしています。市はこのようにして反対されとともに、国負担を増やすことを政府に要望されることを求めました。

市長に提出しました要望書全文は市議団ホームページに掲載しています。「政策&見解」コーナーからご覧いただけます



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2013年1月13日 249

暮らしのご相談を
お寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話・FAX)589-4971
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169

市議団ホームページ
<http://www.yasusigi.net/>